

さいたま市文化財時報

かや 榎りぼーと

第 33 号

平成20年度新指定文化財・認定団体の紹介

さいたま市教育委員会は、平成21年3月30日付で、新たに1件を市指定有形民俗文化財に指定し、市指定無形民俗文化財「砂の万灯」の保存団体として6団体を認定しました。これにより、市内に所在する市指定文化財は442件、国・県指定を含めた総件数は525件となりました。

また、この他に、市内には6件の国登録有形文化財があります。(平成21年4月1日現在)

新指定文化財「福寿庵百観音」

員数 103軀

種別 有形民俗文化財

所在地 西区大字宝来1313

所有者 福寿庵

指定年月日 平成21年3月30日

江戸時代に民衆の間に広まった観音信仰により、観音霊場が各地に設けられました。福寿庵もその一例で、西国・坂東・秩父各観音霊場を合わせた100軀の観音像を一堂に勧請した「百観音」です。現況は、中尊の木造如意輪観音坐像と102軀の木造・銅造の観音像を合わせ、103軀が安置されています。造立年代は、ばらつきがあるものの、多くは江戸時代中期に集中しており、その頃に勧請されたと推定することができます。現在まで、度々水害で被害を受けたものの、補填を重ねており、12年に一度の午年には、継続して開帳が行われています。



新認定 市指定無形民俗文化財「砂の万灯」保存団体6組

団体名称

- ①「砂万灯・西本組」万灯保存会
- ② 東本組
- ③「砂万灯・中本組」万灯保存会
- ④「砂万灯・中組」万灯保存会
- ⑤「砂万灯・上中組」万灯保存会
- ⑥「砂万灯・大上組」万灯保存会

認定年月日 平成21年3月30日

「砂の万灯」は、八雲神社の祭礼時に奉納される万灯供養で、さいたま市無形民俗文化財に指定されています。かつては、20軒前後の家で組を作り、1基の万灯をつくり、合計7組7基の万灯を奉納していましたが、平成4年を最後に休止の状態でした。平成14年「砂万灯・本村組」砂万灯保存会（平成18年3月認定）が活動を再開し、平成17年には7基そろっての万灯の奉納が再興され、現在も続いています。万灯は、7組そろって行うものですが、本村組のみ認定しているため、活動を再開した他6組も追加認定しました。



市内の指定された無形指定文化財等の公開（平成21年7月～9月）のご案内

◎はさいたま市指定文化財、□は国指定文化財
見学や公開に関する詳しい内容は、さいたま市ホームページ>観光・催し物>イベントカレンダーをご覧ください。天候によっては、中止延期の場合があります。

西区

① 秋葉ささら獅子舞

五穀豊穣・悪疫退散・厄除けを祈願して、奉納される獅子舞です。中釘自治会館から行列を作って、秋葉神社まで向かう「道行」も見所の一つです。

- ①日程 平成21年7月18日(土) 10時から
- ②会場 秋葉神社・永昌寺（西区中釘）



② 指扇の餅搗き踊り

指扇地区で祝い事の際、披露された餅つき踊りです。この度、指扇まつりで、日頃の練習成果を発表します。

- ①日程 平成21年8月29日(土) 18時30分から
- ②会場 指扇小学校（西区指扇）



桜区

③ 宿の祭ばやし

大久保神社に奉納される祭囃子です。宿地区を巡行します。五人囃子にあわせ神楽や獅子舞を披露します。

- ①日程 平成21年7月11日(土) 13時30分から
- ②会場 大久保神社(桜区宿)出発、宿地区内



④ 神田の祭りばやし

笛が演奏をリードする古い形の五人囃子です。八雲神社から神田地区を巡行します。

- ①日程 平成21年7月11日(土) 14時から
- ②会場 八雲神社(桜区神田)出発、神田地区内



⑤ 田島の獅子舞

大獅子、中獅子、女獅子、3頭の獅子が、五穀豊穣等を祈って、優美に、時に勇壮に舞います。

- ①日程 平成21年7月11日(土) 17時から
- ②会場 田島氷川社(桜区田島4丁目)



見沼区

⑥ 砂の万灯

悪疫退散、農作物の病虫害防除を祈願して、7基の万灯を並べます。最上部に飾られる人形（源義経等）はそれぞれ内容が違い、各基見ごたえがあります。

- ①日程 平成21年7月19日(日) 16時から
(準備は15時から)
- ②会場 八雲神社
(見沼区東大宮1丁目)



⑦ 深作ささら獅子舞

五穀豊穣等を祈願する三頭の獅子と天狗による舞です。春岡小学校ささら獅子舞クラブの児童による揃太鼓と出端舞も披露されます。

- ①日程 平成21年8月22日(土) 16時から
- ②会場 深作氷川神社
(見沼区深作2丁目)



浦和区

11 浦和まつり

旧浦和地域の神輿渡御。市指定の「木遣歌」、「宿の祭ばやし」、「神田の祭りばやし」、「駒形の祭ばやし」も参加。また、市指定の「仲町獅子王祭獅子頭」「浦和仲町の神酒杵」の公開。

- ①日程 平成21年7月20日(祝) 公演は14時30分から
- ②会場 中山道浦和宿（浦和区仲町他）
問い合わせ先
さいたま観光コンベンションビューロー
TEL048-647-8338 <http://www.scvb.or.jp/>

岩槻区

⑧ 岩槻の古式土俵入り(笹久保)

鮮やかな化粧回しを纏った子供たちによる土俵入りです。子供の健康、安全を祈願して行います。

- ①日程 平成21年9月13日(日) 15時から
- ②会場 篠岡八幡神社(岩槻区笹久保)



緑区

⑨ 氷川女體神社の名越祓え

悪疫退散、健康を祈願する夏越しの行事で、マコモで作った大きな輪を歩いてくぐります。

- ①日程 平成21年7月31日(金) 15時から
- ②会場 氷川女體神社(緑区宮本2丁目)



⑩ 駒形の祭ばやし

里神楽、獅子舞、厄払いなどで構成された五人囃子を披露します。

- ①日程 平成21年7月12日(日) 12時から
- ②会場 須賀神社(緑区中尾)を出発、駒形地区内



人間国宝 増田三男氏に百歳慶祝の祝状授与

人間国宝（彫金）として知られる増田三男氏は、細工の美しさ、繊細さから、その作品は高く評価されています。平成21年4月22日、市内にて、副市長、緑区長より、100歳の祝状と記念品が授与されました。

増田三男氏略歴

- 1909年（明治42） 大門村（現さいたま市）生まれ
- 1929年（昭和4） 東京美術学校（現東京藝術大学）金工科彫金部入学
- 1933年（昭和8） 第14回帝展初入選
- 1936年（昭和11） 東京美術学校金工科彫金部研究科修了
- 1944年（昭和19） 埼玉県立浦和中学校（現浦和高校）に美術科講師として勤務（～1976年）
- 1946年（昭和21） 第1回日展特選
- 1962年（昭和37） 旧日本工芸会会員、第9回日本伝統工芸展東京都教育委員会賞受賞
- 1976年（昭和51） 埼玉大学講師として勤務（～1985年）紫綬褒章受賞
- 1978年（昭和53） 浦和市文化財保護審議会委員（～2001年）
- 1982年（昭和57） 勲四等瑞宝章受賞
- 1986年（昭和61） 浦和市文化栄誉賞受賞
第33回日本伝統工芸展に「きんさいどくわなもん金彩独活花文みづさし水指」（右写真）出品
- 1991年（平成3） 重要無形文化財保持者（彫金）認定



▲金彩独活花文水指（うらわ美術館蔵）

見沼通船堀閘門開閉実演

国史跡「見沼通船堀」の東縁に実際に水を溜め、船を浮かべたままの状態、水位の調節を行います。実演の途中で「見沼通船舟歌」（市指定無形民俗文化財）にあわせた踊りを公開します。

- ①日 程 平成21年8月26日(水)
第1回 10時から
第2回 13時から
(それぞれ1時間半程度)
- ②会場等 見沼通船堀東縁 一の関・二の関
- ③交 通 武蔵野線東浦和駅より徒歩15分



雨天、濁水により中止になることもあります。
駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。